



- 今日も明日も熟字訓 …………… 1
- ネットワーク会員に聞きました! …… 2・3  
「漢字以外で熟中していること」
- 第37回 研修会報告 …………… 4・5
- 漢字の小径(コラム) …………… 6
- サポーターリレーコラム …………… 7
- 投稿募集 …………… 8

## きょう あした 今日も明日も熟字訓…

漢検1・準1級では、音読みや訓読みに加え、熟字訓・当て字の理解も求められます。「熟字訓」は、一字一字の訓ではなく熟語を構成する漢字表記の全体に訓読みを当てたものを言います。一方、「当て字」とは、漢字本来の意味とは関係なく、字音・字訓を借りて外来語や和語の表記に当てたものを言います。

知れば知るほど発見のある熟字訓・当て字。興味深い問題をいくつかご紹介します!

### 漢検1級出題編

【1級検定問題より】※問題形式と設問文は実際の検定と異なります

次の熟字訓・当て字の読みを記せ。

- ① 牛尾菜                      ② 野老
- ③ 白膠木                    ④ 規尼涅

熟字訓が何を指しているのかは  
表記がヒントになりますよ～



**ヒント** ①②③は植物名、④は解熱薬などに用いられる成分。

#### 【解説】

①は「しおで」と読み、漢字表記は漢名から。若芽の形がウシの尾に似ることからこの字が当てられたとされています。②は「ところ」で、牛尾菜と同じく草の名前です。根茎のひげを老人に見立てたことからこの漢字表記になったそうです。③は「ぬるで」という落葉小高木で、漢字表記は漢名から。木から白い膠(にかわ)状の液をとり、塗料にすることからと言われています。最後の④は今回の問題で唯一の当て字です!「キニーネ」と読み、解熱や健胃薬として用いられています。

参考:「漢字ペディア」

### 番外編 こんな熟字訓も…

今回ご紹介したような、由来がはっきりとした熟字訓・当て字ばかりではありません。同じ漢字表記でも複数の読み方があるものや読み方次第で別の動植物を指すものもあります。次の例を見てみましょう!

**鼯鼠** 音読みは、音符の通り「ごそ」と読みます。一方、熟字訓では、「ももんが」と「むささび」とも読み、同じ表記でもそれぞれ別の動物を表しています。どちらもリス科の哺乳動物で、見た目も似ていることから昔は区別されていなかったという説もあります。



**卷耳** 「みみなぐさ」と読み、ナデシコ科の草を指します。葉の形がネズミの耳に似ていることからこの和名となりました。しかし! 同じ漢字表記でも、「おなもみ」と読むこともできます。「おなもみ」はキク科の草を表し、「みみなぐさ」とは全く別の植物です。

参考:「漢字ペディア」

「動物」や「植物」など、同じジャンルの別のものを指す場合、文脈だけでは判断がしにくいのが熟字訓・当て字の難しいところ…

# ネットワーク会員に聞きました!

今回のアンケートテーマは

「漢字以外で熱中していること」です。

ネットワーク会員の皆さまに教えていただきました! (回答者:99名)

項目	年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	総計
その他		1	6	10	8	4	7	1		37
運動			2			5	5	2		14
芸術・文化		3	2	1	5	3		2	1	17
勉強		3	7	2	6	4	4	3	2	31
総計		7	17	13	19	16	16	8	3	99



## 熱中していること

イラスト

漢字検定の中で出題された諺や四字熟語が創作の種になって非常に楽しい。

読書

夏目漱石の作品を読むことに熱中しています。現代とは異なる漢字の使い方がされていて、ストーリーを楽しむと共に奥深い漢字の世界にどっぷりつかることが出来ます。結局漢字にはまっていますね笑

他にもこんな回答がありました!

ピアノ・数学・韓国語・文房具・法医学



## 熱中していること

物理

現在大学院で研究中です。物理に現れる数式や方程式も漢字と同様、雄弁に物事を語りかけてくれるのが好きです。また専門書を読む際に、著者は小難しい漢字や言い回しの使用をよく好むので、漢検の知識が非常に役に立っています。漢字と物理は学術上対極にあるのかもしれませんが、案外相性が良いのがまた推せます。

美術館に行くこと

国内外問わず文化が好きで、屏風や絵画、工芸品、書簡、棺など、どんな背景でそれが作られたのかを知ることが特に楽しいです。日本文化の作品名では漢検準1級で習得したものも出てくるので役に立っています。

散歩

<理由>見知らぬ町を歩いて、地名を見るのが好きであるため。

名字

漢字が使われているというのが最大の理由ですね。どうして、この漢字を使うようになったのだろうかと考えたり、平易な漢字を使っているけど、世帯数が少ない名字や難読な名字を見つけると楽しいです。1級にも出てこない漢字(異体字含め)を使った名字も、いくつか見つけました。

他にもこんな回答がありました!

読書・株式投資・簿記・就活・語学・スイーツ・手芸・ゴルフ・法学・ドラマ・映画・アニメ鑑賞・政治・経済・英語・マラソン



## 熱中していること

クイズ

母がラジオのクイズ番組に出場していたことがあり、その影響でクイズが好きです。漢字に関する問題も出題されるので、漢検に挑戦していて良かったと思うことも多々あります。

私的言語の作成

私だけしか通じない言葉を作り、それを使って撮影した風景の字幕を吹き替えた動画を作っています。人類が言葉を話し始めた起源を想像しながら、内語に近い言葉で文章を書くことを楽しんでいます。

ペン習字

文字の形に熱中しています。綺麗な字を書ける方は、おっ!と思わせるものがあります。私もそういう人になるため、目指しています。

野草の観察

漢検1級の熟字訓の勉強でたくさんの植物を調べたのがきっかけで、路傍の野草を観察するのが好きになりました。

他にもこんな回答がありました!

スプラトゥーン3・ドラマ・映画・アニメ鑑賞・読書・早寝早起き・手芸・グルメ・野菜栽培・漢字・お笑い



## 熱中していること

フランスの食文化中心の資格取得  
フランス語検定への挑戦

一見関係ないような資格でも興味を持った資格には果敢に挑戦すべきです。使う頭が違うし、もともと好きだった勉強にも再挑戦する意欲がわいてきます。また、勉強を通じて知り合う仲間、先輩とのつながりはかけがえがないです。

お城巡り

たまに難読地名があると漢検の学習を思い出します。

韓国語学習

勉強し始めてから知りましたが、韓国語単語の7割程は漢字語なので日本語と共通する言葉がとて多いです。漢字教育士になるための講座を受けていたときに知った内容が、韓国語学習をしているときの理解に役立ったことがあったときは嬉しくなりました。

翻訳者を目指して英語の勉強

中国ドラマ

漢検の勉強で習った漢字が出てきて、ドラマの世界をより深く味わうことができます。例えば「五更」という字幕が出てきた時は、夜間でも明け方に近い頃を言っているとわかり嬉しくなりました。

他にもこんな回答がありました!

世界遺産・推し活・植物栽培・英語・読書(宮城谷昌光氏)・占星術・手芸・ピアノ・漢検アプリ・古文書・旅行・愛犬・歴史・声楽

## 編集部よりコメント

ご回答ありがとうございました!回答者が99名と過去最多であったことから、今号は見開きで内容をご紹介いたしました。被りも少なく多種多様なジャンルが出ましたが、「漢字の勉強から派生した」「漢字の勉強が役立った」ものが多く、漢字にはこういう繋がりもあるのかと新たな発見をさせていただきました。載せきれなかった内容はメルマガにてご紹介いたします!

次のアンケートテーマは「漢字にハマった瞬間」です。回答方法は8ページをご覧ください!



熱中していること

羊毛フェルト  
漢字の勉強で頭を使って疲れたら、次は無心でひたすら羊毛フェルトを針でサクサクしてマスコットを作ったりします。いい気分転換になります。

フランス語とイタリア語の勉強  
元々大学でフランス語を専攻していたのですが、ヨーロッパ旅行の際に全く話せなかったのが悔しくて、学び直しをしています。

他にもこんな回答がありました!

卓球・ランニング・日本史・ジョギング・エッセイ執筆・ドラマ・映画・アニメ鑑賞・マラソン・競馬・俳句・韓国語・歴史・聴講・ピアノ



熱中していること

環境保全活動  
自身は環境管理士・漢字教育士で有り、地球環境と漢字文化の保全に一生努めるという志で日々、地域デコ活動と漢字研鑽に取り組んでいます。

漫画の流行の探究  
<内容>週刊少年ジャンプの連載漫画には、「現実世界のルールに従うもの」と「従わないもの」があります。その消長を探っています。  
<理由>高校生時代から50年弱にわたり同誌を読んでいます。この間、時代背景の変化につれて、読者層も変りました(女子の増加など)。掲載漫画のジャンルも大きく変容しており、興味深いです。

ママさんバレー  
35年間やっています。還暦を過ぎて以前よりキッチンとストレッチなどして活動しています。

他にもこんな回答がありました!

阪神・植物栽培・薪割り・中国語・グルメ・野鳥観察・マスターズ陸上・ウォーキング・卓球・散歩・ロシア語



熱中していること

数学検定  
準1級に合格し、4月に初めて1級に挑戦します。  
数学のYouTube視聴や問題集等でうまく解いている記事を見ると、数学に対する面白さが増し、奥深さを感じるからです。

川柳  
創り始めて早や8年になろうとしています。  
日頃の思いを言葉に託し表現する楽しさ苦しさを味わっています。

他にもこんな回答がありました!

競技かるた・終活・ソフトボール・京都検定・クラシックギター・漢字パズル・水彩画・漢文・古文書

## 研修会 報告

# 第37回 会員向け研修会を開催いたしました。

2024年4月7日(日)に主婦会館プラザエフにて、会員向け研修会を対面開催し、92名の方にご参加いただきました。ご講演内容を簡単にご紹介いたします。

## 「奈良時代の漢字仮名交じり文」

中央大学特任教授 池田 幸恵 先生



### 1. 奈良時代の言葉の資料

奈良時代の資料として有名なものに『日本書紀』や『古事記』、『万葉集』などがあります。しかし、これらの資料から当時の日本語の姿を知ろうと思うとき、難しい問題があります。たとえば、『日本書紀』は日本の正史ですが、正格漢文で書かれているため、その裏にどのような日本語があるのか、どういうふうに読めば良いのかよく分かりません。

『古事記』は日本語化した漢文(漢字文)で書かれています。これも太安万侶がどのような日本語を想定して書いたのかを正確に知ることはできません。冒頭の「天地初発」から、研究者によってその読みが異なっているのが現状です。

『万葉集』の歌は、学校の教科書では漢字仮名交じりで書

かれています。実際には、漢字だけで表記されていたり、万葉仮名(漢字の音や訓を借りて日本語を書き表した文字)だけで書かれていたり、漢字万葉仮名交じりで書かれていたり様々です。『日本書紀』や『古事記』よりは当時の日本語の姿がよく分かる資料ですが、歌の言葉であり、日常の言葉や文字遣いとは異なる点があるかもしれません。

日本語を表記する場合、すべて万葉仮名で書く方法は、和歌のような韻文では大丈夫ですが、散文では意味の切れ目がわからなくなってしまいますし、漢字と万葉仮名を交ぜて書く方法も、どれが漢字でどれが万葉仮名か分かりにくい、となることもあるでしょう。

### 2. 『続日本紀』と宣命

奈良時代の歴史を記した資料に『続日本紀』があります。『日本書紀』に次ぐ第二の正史で、これには本居宣長の数え方によると62詔の宣命が収められています。宣命は天皇の詔勅(大命)を宣べ聞かせる行為であり、またその詔勅のことをいいます。当時漢文だった天皇の詔勅を、和文

で書いたものが宣命です。天皇の即位や譲位、立太子など、国家の大事に際して宣布され、宣命使が読み上げます。即位宣命は奈良時代の文武天皇からの定型文が明治天皇の即位まで使用されました。

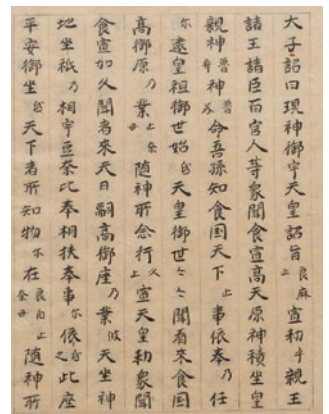
### 3. 宣命体表記

宣命は宣命体表記と呼ばれる表記法で記されています。語順は原則として日本語の語順に従い、体言や用言の語幹は漢字の意味に従って大きく書かれ、助詞や助動詞、用言の活用語尾は万葉仮名で小書きされます。意味のある部分は大きく書いて、付随的な部分は小さく書いているため、漢字と万葉仮名の区別ができ、分かりやすく読みやすい表記法であるといえます。

万葉仮名で小書きしているのは、助詞や助動詞、動詞の活用語尾、接尾語など、文や語を組み立てるときの助けになる補助的な部分です。「神魯弃(かむろぎ)」、「神魯美(か

むろみ)」は「神」が漢字、「魯弃」「魯美」は万葉仮名です。また、助詞の「止(と)」、「乃(の)」、「尔(に)」などが万葉仮名で小書きされています。

また、宣命体表記では、助詞や助動詞に漢文の助字が使われることもあります。「而(て)」と「者(は)」は『続日本紀』では用例数が多いで



『続日本紀 巻21』国立公文書館蔵。  
孝謙天皇の譲位宣命(第23詔)の前半部分  
(国立公文書館デジタルアーカイブ)



すが、平安時代の宣命ではかなり使用が少なくなります。連体の関係を示す「之(の)」は、平安時代になってもよく使われます。

漢文助字でも、助動詞に相当する否定を表す「不」、「べし」に相当する「可」、「しむ」に相当する「令」は、平安時代

の宣命でも多用されます。文脈が打消、推量、使役だと視覚的にわかるためです。助動詞は万葉仮名で小書きするよりも、漢文助字で大きく書くほうが文脈理解の助けになるでしょう。

### 4. 仮名書き自立語

宣命体表記において、自立語は漢字表記されるのが原則なのですが、中には万葉仮名で大書されているものもあります。これらを仮名書き自立語といいます。左下の例にある「加久(かく)」や「宇豆奈比(うづなひ)」などが該当します。仮名書きされる要因として、漢字で表記すること

が容易でない、一般的でないことが挙げられます。例えば用例にある、貴重なものとして扱うという意味の「うづなふ」という語を聞いて、その漢字表記がピンと来る人はなかなかいないでしょう。ちなみに現代では、見出しに「珍なふ」という漢字を当てている辞書があります。

### 5. 日本語と漢字の結びつきの変化

宣命体文献において自立語が漢字ではなく仮名で表記されている要因については、これまで多くの研究がなされてきました。たとえば、『続日本紀』宣命には「きらふ」という語が何度も出てきますが、「伎良比」「岐良比」のように万葉仮名で表記され、「嫌」という漢字では書かれていません。和語「きらふ」と漢字「嫌」には意味的なズレがあり、奈良時代から平安時代初期にかけては、漢字「嫌」と対応する和語は「そねむ」であったようです。

また、宣命には、物事の状態が穏やかであるさまを表す「おだひ」という語が使われますが、『続日本紀』宣命では「於多比」「意太比」のように万葉仮名で表記されています。この語は、平安時代に編纂された第五の正史である『日本文徳天皇実録』の宣命では「穏」とあり、「おだひ」と漢字

「穏」は平安時代初期に結びついたことが分かります。ちなみにこの語は鎌倉時代に入って「おだやか」になりました。

このように、「この語にはこの漢字」と私たちが思い込んでいるものも、奈良時代の宣命を見ると、未だその結びつきが成立していないものもあり、漢字と日本語がどのように結びついていくのかを宣命体表記文献を通して見ても興味深いテーマの一つでしょう。

奈良時代の漢字仮名交じり文として宣命があり、そこではいろいろな工夫をしながら日本語を書き表しています。宣命は奈良時代の言葉を知るための貴重な資料の一つであり、漢字と日本語の結びつきを探るといっても面白い資料であるといえます。

## 漢字教育サポーター 研修会報告

- 日 時：2024年4月14日(日) 10:30～11:30
- 参加者：36名
- 研修会内容：講座開催団体担当者と講師に聞く「こんなサポーター講座をやりました！」

講座を主催する団体の代表の方と、さまざまな講座を担当するサポーターの方に、双方のお立場から講座の具体的な内容やハプニング対応などをお話いただきました。

**講師** 不動わくわくアカデミー  
なかがわともみ  
代表: 中川智美さん

小学生向け漢字学習教室にサポーター制度を活用している中川さん。小さい子どもたちの集中力を絶やさないう「楽しく学習すること」を大切にしていること、子どもが好きなことをサポーターの採用条件にしていることなど、主催側目線のお話をいただきました。

**講師** 漢字教育サポーター  
しかたさちこ  
1期: 四方佐知子さん

大人から子どもまで、野外でも講座を行う四方さんからは、事前準備や当日のハプニング対応の実例を紹介いただきました。動物園でのコラボイベントでは、動物が見られなかった場合に備えイラストを用意するなど、事前準備の工夫もお話いただきました。

#### 講座にまつわるハプニング

##### ハイブリッド講座あるある

Zoomで音声共有しても音が聞こえない  
画面共有でフリーズしたといったハプニングは日常茶飯事  
→ 事前にZoomでテストを行うべし  
→ Zoomホストと画面共有を使用する講師は分けるとの徹底(あくまで個人の感想)



##### コラボイベントあるある

施設職員やガイドの展示解説が思いのほか長く、漢字解説を始めるタイミングが分からず、ヒヤヒヤ……

→ 事前に施設などと打ち合わせをするサポーターもいらっしゃる。その態度を見習うべし  
→ 解説の時間が予定通りにならないことも覚悟しておく



##### 講座開始直前に

会場の電気系統が突然故障。準備したスライド資料が投影できなくなり、配布資料のみでなんとか乗り切る  
→ こればかりは仕方がない。諦めて、できることをやるしかない  
→ 配布資料はまさまで持ちこたせる



##### ハプニングからレギュラーコーナー

当初予定されていたミニ講座の講師が、急遽講座ができなくなったとの連絡を受け、代講を引き受けることに。取り急ぎ準備したミニ講座がそこそこウケたため、レギュラーコーナーに格上げ(?)となる  
→ 慣れは人の為ならず。頼まれたらとあえず引き受けてみよう



次回は11月上旬を予定しています。詳細は10月号でお知らせいたします。



# 小径



# 漢字の

漢字研究の大通りから一歩わきみちに踏み込めば、また違った景色が広がっています。このコラムでは漢字文化研究所の研究員が「漢字の小径」をご案内します。

漢字文化研究所とは、日本文化の側面から日本の漢字をつまびらかにする調査研究等を行うために、日本漢字能力検定協会内に置かれた組織です。

漢字文化研究所・主任研究員

田中 郁也



## 声訓

「五人以上の会食に酒類を提供しないように」という自治体から飲食店への協力要請を、皆さんは覚えていらっしゃるでしょうか。コロナの蔓延を防ぐため社会全体が自粛していた時には、食事会に参加すること自体が憚られたものですが、街の賑わいを見ていると、そのような非常事態はもう遠い昔のことのように感じられます。

酒宴の人数制限については、前漢王朝の歴史を記す『漢書』にも記載が見つかります。第五代の皇帝文帝が、即位するに際して五日間の酺(大人数の宴会)を与えたというのがそれで、後漢の学者文穎は、「漢の法律では、理由なく三人以上が集って飲酒することが禁じられ、これに違反した場合四両の罰金が科されていた」といいます<sup>1</sup>。つまり、皇帝の即位というお祝い事に際して、五日間に限って、三人以上が集って宴会を開くことが許されたというわけです。

さて、この「酺」については唐の大学者、顔師古(581-645)も注をつけていて、「酺の言たるや布なり。王の徳天下に布いて合聚飲食するを酺となす。(意識:酺が酺と名付けられたのは、布だからである。王の徳が天下に行き渡り(=布)、集まって飲食するのが酺なのである。)」<sup>2</sup>

とっています。ここで注目したいのは、顔師古は「酺」の意味だけではなく、その語源をも説明していることです。皇帝によって許される酒宴が「酺」と名付けられた理由を、似た音で発音される<sup>3</sup>「布」という

字に求めているのです。

このように近似音の字を根拠にして意味や語源を解説する方法のことを、声訓と呼びます。よく寝る子だから「ねこ」と名付けられたというように、発音の類似だけを根拠に語源を語るのはあまりに素朴で、現代人の目からは単なるこじつけのようにも見えます。しかし、この語源解釈法が一世を風靡した時代がありました。それは今から2000年ほどもさかのぼった漢代の頃で、当時、声訓を用いた語源解釈の辞書<sup>4</sup>が作られるほど流行したようです。

それでは、なぜ声訓は漢代にはやったのでしょうか。当時の政治的背景などその理由は様々に考えられるでしょうが、民国時代の学者劉師培(1884-1919)は、漢代の学問伝授が口伝えだったためだと言います<sup>5</sup>。言われてみればなるほどその通り、漢代には印刷術がありませんから、手持ちのテキストの多くは師匠の口述を書き取ったものだったはずで、師匠が前で宣読するのを弟子たちが一斉に書き取ってテキストにしていた、そのような環境では、字形ではなく字音こそが意味や語源を考える際の主要な根拠となったことでしょう。

劉氏の話をもっと一般化すると、学習ツールの特性に応じて、人間の思考パターンは変わるのだということになるでしょうか。学校の授業でタブレット端末を使う現代の子供たちには、鉛筆とノートで勉強してきた我々旧世代とは異なる、思考上の特徴があるのかもしれませんが。

1. 『漢書』卷四文帝紀、「文穎曰、音歩。漢律、三人以上無故群飲酒、罰金四両」。  
2. 同上書「師古曰、酺之為言布也。王徳布於天下而合聚飲食為酺」。  
3. 上古音で「酺」は幫母魚部、「布」は並母魚部。  
4. 後漢・劉熙『釈名』。  
5. 『漢宋諸儒解文字者、各不同。漢儒重口授、故重耳学』。劉師培「漢宋小学異同論」(『漢宋學術異同論』所収)。



# 漢字教育 サポーターリレーコラム

第21回

このコーナーでは、リレー形式で漢字教育サポーターの皆さまによる漢字や漢字教育活動に関するコラムを掲載します。第21回は沖縄県にお住まいの大城 良紀さんにご執筆いただきました。

## 漢字を通してつながる場づくり

第10期漢字教育サポーター 大城 良紀

漢字教育サポーター10期生有志の会(図南会)を主宰しています、大城と申します。沖縄県出身・在住で、沖縄で唯一海に面していないまち「南風原町」が地元です。

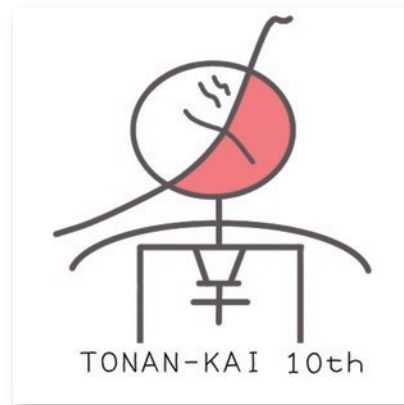
図南会は2022年に発足し、現在約80名の会員がいます。月1のZoom定例会やLINE等を活用したオンライン交流が活動の中心です。最近は漢字教育サポーター研修会や他地域のサポーター勉強会に現地参加することで、会員同士が対面で会うことも増えてきました。漢字を通して集う場・つながる場を整えてくださるみなさんに、この場を借りてお礼申し上げます。

図南会を立ち上げる前のことを思い返すと、私は、漢字に向き合う時間は常に1人でした。社会人になって漢字を勉強していることを共有できる友人や知人はおらず、漢検に挑戦することを知っているのは家族くらいでした。おそらく私と同じ境遇の方は少なくないと思います。

しかし、今は違います。年齢や職業、住んでいる場所を問わずオンラインでつながることができ、漢字という共通の話題で話せる友人ができました。図南会には、漢検1級合格を目指す方、教養を深めたい方、サポーターとして地域活動をしたい方・している方な

ど、漢字を軸とした取組に関わる方々が所属しています。漢字を通してつながる場づくりを担う1人として、私はこれからも息の長い活動を続けていきたいと考えています。

ところで、本コラムの序盤に出た「南風原町」は読めましたか？ 実はこれ、沖縄の難読地名にも選ばれる漢字です。ここでは答えを出さないで、「難しいな～」と感じられた方はぜひ調べてみてはいかがでしょうか。海を隔てた沖縄の小さな町とつながる、1つのきっかけになるかもしれません。



会員の方が作ってくれた図南会ロゴです...

大城さんからのご紹介で  
今回は埼玉県の大川 勇一郎さんのコラムを掲載します。  
お楽しみに!

## 漢字クイズ 難読地名

沖縄県

今回は、沖縄県の地名を3つ紹介します。以下の3つの地名は何と読むでしょうか。

- ①保栄茂 (豊見城市)
- ②喜屋武 (島尻郡南風原町)
- ③比謝疋 (中頭郡読谷村)



解答は8ページへ

# 会員通信への投稿募集中!

会員通信を充実させるため、会員の皆さまからの積極的なご投稿をお待ちしています。

## 会員向けアンケート回答方法

### 次のアンケートテーマ「漢字にハマった瞬間」

皆さんが漢字を好きになったきっかけは何ですか?ぜひ教えてください。

右記の二次元コードを読み取るか右記のアドレスを入力し、2024年7月15日(月・祝)までにご回答をお願いいたします。

[https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770\\_avy\\_838/index.do](https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770_avy_838/index.do)

※上記のアドレスにアクセスできない場合、メールにてお知らせください。郵送・FAX・メールいずれかの方法でアンケート用紙をお送りいたします。



### 1級に初めて合格しました!

あなたの合格体験が、1級を目指している方々の励みになります。どのようにして合格に至ったのか、「あなたの」体験をご投稿ください。

- 投稿内容: ①合格時期  
 ②合格までの受検回数  
 ③合格に向けて工夫したこと、励みになったこと  
 ④合格した時の気持ち、感想  
 ⑤今後の目標

※文字数: 項目①~⑤までの合計で500字以内  
 ※対象: これまでに1級合格経験のある方  
 ※当協会運営のWebサイト「漢字カフェ」に、お名前を伏せて掲載させていただく場合がございます。

### 投稿方法

- ①~④を明記し、メールまたはFAX、郵送にて下記の投稿先にお送りください。  
 ①会員番号 ②氏名(ペンネームも可) ③電話番号  
 ④各コーナーへの投稿内容やご意見・ご感想

投稿先 **日本漢字能力検定協会  
生涯学習ネットワーク担当**

メール: [lifelong@ic.kanken.or.jp](mailto:lifelong@ic.kanken.or.jp)  
 FAX: 075-532-1110  
 郵送: 〒605-0074

京都市東山区祇園町南側551番地

次号の締切日: 2024年7月15日(月・祝)

※投稿・会員通信へのご感想は随時受け付けております。  
 ※お名前・ご連絡先を投稿される場合、掲載しても差し支えないかご確認ください。  
 ※ご投稿いただいた内容は、当協会運営のWebサイトに掲載させていただく場合がございます。  
 ※未成年の方は保護者の方の同意を得て、ご投稿をお願いいたします。  
 ※全てのご投稿を掲載、採用できるわけではございません。また、原稿は一部割愛・校正させていただく場合がございます。

### イベント告知

ネットワーク会員に向けて、漢字に関するイベントや学習会、研修会の告知ができます。

- 投稿内容: ①日時 ②会場 ③内容 ④参加費  
 ⑤公開してもよい連絡先(メールアドレス・電話番号等)

※会員通信は6月、10月、2月に発行予定です。情報をお寄せいただいた時期によっては、会員通信ではなく、メールマガジンでのお知らせとなる場合がございます。

アンケートにご回答、もしくはご投稿いただいた方の中から抽選で3名の方に「今年の漢字」図書カード(500円分)をお送りいたします(当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます)。



### メールマガジン

登録者募集!



漢検 生涯学習ネットワーク会員向けメールマガジンには登録されていますか?

外部講座や漢検の最新情報、漢字クイズなどの内容を月に1回程度配信しています。メディアへの出演依頼があることも!

メルマガ登録を希望される方は、生涯学習ネットワーク登録変更フォームから、「メールマガジンの登録」を「希望する」に変更してください。登録したけれどメルマガが届いていない、という方も再度ご登録してみてください。

[https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770\\_avy\\_103/index.do](https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770_avy_103/index.do)

### バックナンバー



会員通信のバックナンバーは、協会Webサイトで読むことができます! 見逃した号やもう一度読みたいコーナーは、こちらからご覧ください。

<https://www.kanken.or.jp/kanken/lifelong/news.html>

### 登録情報のご変更や退会を希望される方

右記のバーコードを読み取るか以下のアドレスを入力し、インターネット経由で手続きをお願いします。

インターネットからのお手続きが難しい場合には、裏面の用紙をお使いください。

※「会員通信」が不達となった方は、自動的に退会となってしまいます。

・登録変更URL: [https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770\\_avy\\_103/index.do](https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770_avy_103/index.do)

・退会URL: [https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770\\_avy\\_232/index.do](https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770_avy_232/index.do)



変更希望の方



退会希望の方



公益財団法人

日本漢字能力検定協会

本部 〒605-0074 京都市東山区祇園町南側551番地  
 ※「漢字検定」「漢検」は登録商標です。

<https://www.kanken.or.jp/>



0120-509-315

月~金9:00~17:00(祝日・お盆・年末年始を除く)  
 ※検定日とその前日の土・日は窓口を開設  
 ※検定日は9:00~18:00

